

令和6年度第2回岡山県医療対策協議会（書面開催）において寄せられたご意見及び事務局の考え方

自治医科大学卒業医師キャリア形成プログラム（案）

No.	御意見	事務局の考え方
1	後期研修について2年間まで義務年限期間の算入が可能になるということでキャリア形成がよりスムーズになる。対象とならない医師への配慮をお願いしたい。	毎年秋に実施している自治医師との個別面談を行った上で、へき地医療拠点病院への医師の適正配置の観点等を踏まえて決定します。
2	後期研修で診療の幅を広げたり深めたりしていただければと思うが、それをどのように地域に還元するのかを考えながら過ごしていただきたい。	後期研修の前年度の個別面談において、後期研修で身に付けた最新の知識・技術等を後半の地域勤務において十分に発揮していただくことを期待していることを説明します。
3	キャリア形成プログラム（概要）（案）に関する自治医科大学卒業医師、学生の意見及び回答のうち、週一研修に対する回答の「学生でも週一研修のイメージが分かるように記載します」とあるが、その記載が見当たらない。	週一研修については、これまで明文化されたものは存在しなかったため、キャリア形成プログラムの地域勤務の部分に記載しました。 自治医科大学学生には年2回程度キャリア形成プログラムを説明する中で周知していきたいと考えています。
4	キャリア形成プログラム（概要）（案）に関する自治医科大学卒業医師、学生の意見及び回答のうち、専門医取得に向けた相談に対する回答については、相談内容も多岐にわたると思われるため、選任医師に関わらず岡山県へき地医療支援機構（岡山済生会総合病院）全体で対応する必要があると考える。	岡山県へき地医療支援機構（岡山済生会総合病院）の専任医師だけでなく組織として対応する必要があることから、次のとおり修正します。 「岡山県へき地医療支援機構（岡山済生会総合病院）で、専門医取得についても相談を受け付けています。」
5	義務年限期間中の自治医師や自治医科大学学生の意見を反映いただいたものと考えます。 今後は、研修病院とそれ以外の病院とのたすき掛けや、地域勤務、後期研修についても選択肢を増やすことも検討いただきたい。	後期研修については、地域医療へ貢献している県内の医療機関で研修を行うことができるため、たすき掛け研修も可能であると考えています。 地域勤務や研修については、地域が求める医療と医師のキャリアが両立できるようにしたいと考えています。